

M.T. (ベルギーオランダ語圏 2019-2020)

ここ最近のコロナウイルスの拡大によって日本のみならず世界が大きく変わってしまいました。はじめは遠いベルギーから日本の家族や友達の心配をしていましたが、1 か月も経たない間にウイルスは世界中に広がり、全ての AFS 生が帰国を余儀なくされました。

それはちょうど日本を出発して半年の事で留学生活も折り返し地点。現地での生活にも慣れ、ホームシック等も乗り越えて一番留学を楽しんでいた時の出来事だったので頭が真っ白のまま、失意の帰郷となってしまいました。

帰国後も自分が悪い訳ではないと分かっているけど、留学をやりきる事が出来なかった悔しさから自分を責めてしまう事が多々ありました。しかし帰国後にも現地で苦楽を共にしてきた世界中の友達と近況を報告しあったり、ホストファミリーと連絡をしていく中で現実を前向きに捉える事が出来る様になってきました。

特に落ち込んでいた自分を励ましてくれたのはウイルス研究をしているホストシスターでした。僕のホストシスターはいつも留学中に学校の授業についていけるように大学時代の友達に僕に勉強のサポートをするように頼んでくれたり、週末にはベルギー中を旅行に連れて行ってくれたりと実の家族のように接してくれていました。

そんなホストシスターからの「自分の仕事のモチベーションは、はやくこのウイルスを解明してまた笑顔で再会する事だよ。」というメッセージを見てから目標に向けて前進する事ができています。

僕はコロナウイルスの拡大が終息したら海外で勉学に励む予定です。今は日本を飛び出す事はなかなか難しい状況ですが、その後を見据えて十分に準備をする時間があります。留学に興味があったり、海外を実際に見てみたいと考えている人にはコロナを理由に留学を諦めないで欲しい。留学には人生を変えてくれる大きな発見や学びがあります。

※新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、AFS 留学生は、プログラム中止し、全員が帰国することになりました。
M.T.さんも 3 月に帰国しました。